

欧州特許庁、António Campinos新長官が就任

2018年7月2日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、António Campinos 新長官（国籍：ポルトガル）が就任した旨、7月2日付けニュースリリースにて公表した。任期は5年。

EPO のニュースリリースによれば、António Campinos 新長官は、EPO 長官を務める以前も、ポルトガル産業財産庁長官や欧州連合知的財産庁（EUIPO）長官を務める等、知的財産関係の重要ポストを歴任しており、知的財産に関する幅広いバックグラウンドを有しているとしている。

なお、歴代 EPO 長官は、以下のとおりである。

<歴代 EPO 長官>

一代目：Johannes Bob van Benthem 氏（オランダ）（1977年11月1日～1985年4月30日）

二代目：Paul Braendli 氏（スイス）（1985年5月1日～1995年12月31日）

三代目：Ingo Kober（ドイツ）（1996年1月1日～2004年6月30日）

四代目：Alain Pompidou（フランス）（2004年7月1日～2007年6月30日）

五代目：Alison Brimelow（英国）（2007年7月1日～2010年6月30日）

六代目：Benoît Battistelli（フランス）（2010年7月1日～2018年6月30日）

七代目：António Campinos（ポルトガル）（2018年7月1日～）

－ EPO のニュースリリースは、以下参照 －

[António Campinos takes over as President of the European Patent Office](#)

－ EPO 新長官に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州特許庁次期長官に António Campinos 氏（現欧州連合知的財産庁長官）を選出（2017年10月11日）（PDF）](#)

（以上）